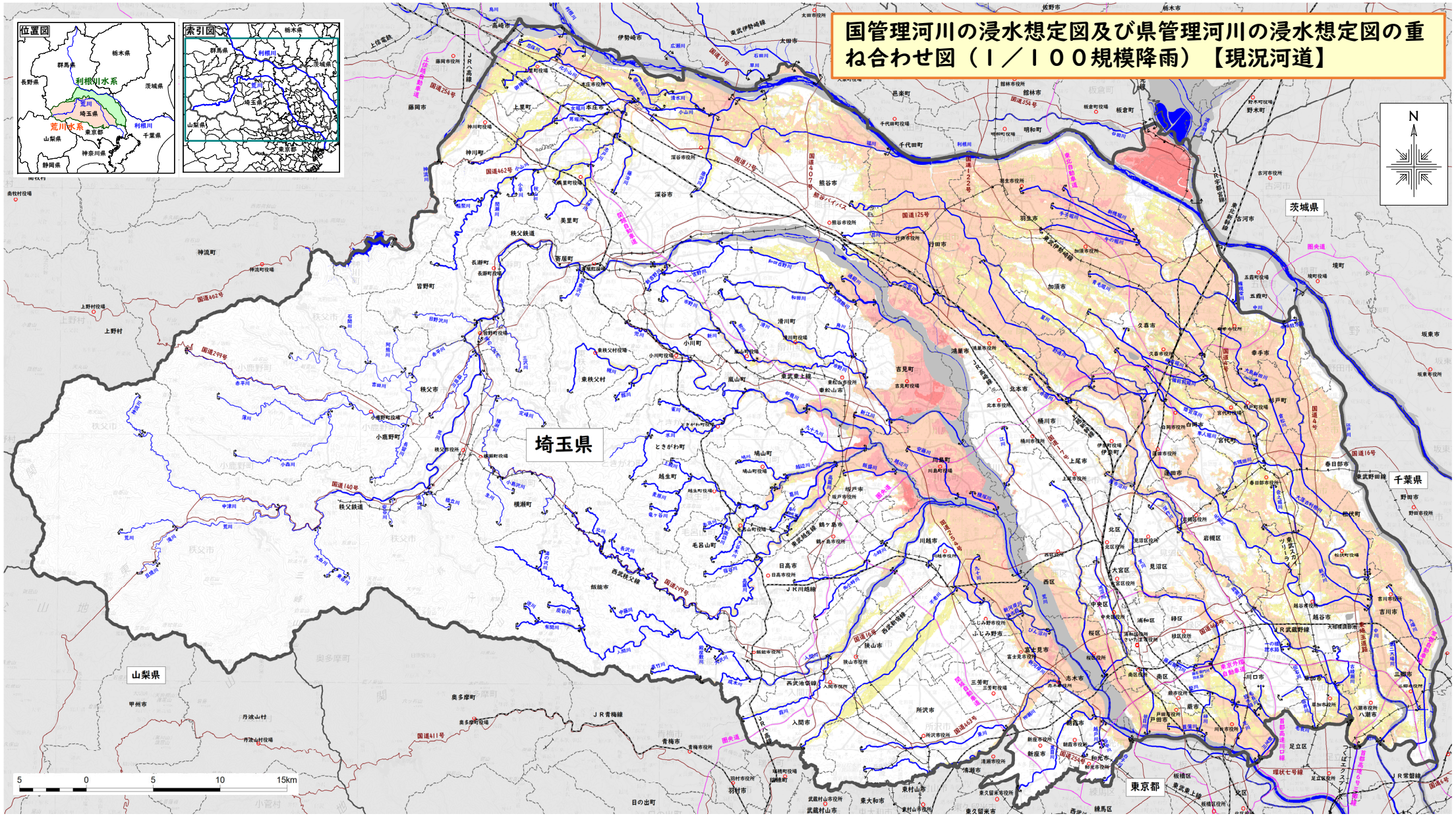
国管理河川の浸水想定図及び県管理河川の浸水想定図の重ね合わせ図（１／１００規模降雨）【現況河道】



説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を表示した図です。

（２）この浸水想定図は、埼玉県が作成した多段階の浸水想定図（利根川水系（小山川流域、福川、中川流域、御陣場川流域、神流川、谷田川、石田川）、荒川水系（市野川流域、入間川流域、鴨川流域、芝川・新芝川流域、新河岸川流域（埼玉県のみ）、吉野川流域、和田吉野川流域、江川、笹目川、菖蒲川流域、荒川上流域））の県管理河川の浸水想定図（１／１００規模降雨）【現況河道】に、国土交通省が作成した多段階の浸水想定図(利根川水系（利根川、中川・綾瀬川、渡良瀬川）、荒川水系（荒川及び入間川流域））の国管理河川の浸水想定図（１／１００規模降雨）【現況河道】を重ね合わせたものであり、他の都県管理区間からの氾濫等による浸水は重ね合わせしていません。

（３）（２）のそれぞれの多段階の浸水想定区域図のもととなるシミュレーションの実施にあたっては、対象となる河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーション結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、シミュレーション結果は、埼玉県内のみを表示しています。

（４）この浸水想定図の作成にあたっての基本事項等については、（２)に記載した各河川・流域の多段階の浸水想定図を確認ください。

公表年月日：令和６年１１月１８日

※この多段階の浸水想定図は、水防法に基づく図ではありません。

凡　例

浸水した場合に予想される水深（ランク別）

- 0.0～0.5m未満の区間
- 0.5～3.0m未満の区間
- 3.0～5.0m未満の区間
- 5.0～10.0m未満の区間
- 対象となる河川
- 河川等範囲
- 市区町村界
- 主な鉄道（JR）
- 主な鉄道（JR以外）
- 主な国道
- 主な高速道路

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を複製したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 45 ）